

中学生のみなさまへ
保護者のみなさまへ

危機管理室

中学生向け防災チェックシートの配布について
日頃から本市の防災行政につきまして、御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。
本市は、毎年9月の第一日曜日を「新座市家族防災会議の日」と定め、家庭内において、災害への備えを確認していただくようお願いしております。
この度、中学生向け防災チェックシートを作成いたしましたので、御家庭における防災の取組について考える機会として、御活用いただきますようお願いいたします。

記

1 チェックシートの解説

(1) 「STEP1 家族を守るため、チェック（）してみよう！」について

- A 阪神淡路大震災時、死因の約8割が圧死や窒息死であったことから、家屋の耐震化とともに、家具の転倒防止対策が有効です。
- B 避難時の導線を確保し、頭部を保護することが重要であることから揺れによる落下を予防しましょう。
- C 避難所の生活は過酷です。自宅が損壊していない場合に生活できるよう、最低3日間（推奨1週間）の食料・飲料水・生活必需品などを備蓄しておきましょう。
- D 災害に備え、情報を収集しましょう。気象庁ホームページ等も参考としてください。
- E 過去の大災害時でも、人名救助をした割合が消防機関よりも家族や近所の人の割合が高かった事例があります。地域の町内会や自治会、自主防災会が実施する防災訓練等に参加し、普段から顔の見える関係を築きましょう。
- F 消火器やAEDの使用方法を確認しておきましょう。
- G 近所の避難場所を確認しましょう。洪水時に浸水想定区域内（河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域）の避難場所は使用できない等、災害種別についても確認しましょう。
- H 市は、想定最大規模降雨（おおむね1,000年に一度程度起こると考えられる大雨）による洪水が起きた場合の浸水の状況等を示した「新座市洪水土砂災害ハザードマップ」を作成しております。

(2) 「STEP2 登下校中や外出中に大きな地震が発生しました。正しいものを全て選ぼう！」について

→全て正解

- A 古いブロック塀は倒壊する危険性があるため注意が必要です。通学路等で危険な箇所をチェックしておきましょう。
- B 地震時のエレベーター使用は厳禁です。乗っているときに地震が発生したら、全ての階のボタンを押し、止まった階で降ります。閉じ込められたら非常ボタンで外部と連絡します。
- C 地下街は、地震に比較的強い場所です。急いで地上に出ると、ビルの窓ガラスの破片や看板の落下等の危険があります。揺れがおさまるのを待って、慌てずに出口に向かいましょう。

(3) 「STEP3 登下校中や外出中に突然のゲリラ豪雨が降ってきた。正しいものを全て選ぼう！」について

→全て正解

- A 大人が避難してなくとも、危険だと感じたら自ら率先して避難してください。ひざ下まで浸水した場合、移動は危険です。浸水する前に避難を完了することが最も望ましいですが、それができなかった場合、次善の手段として、近隣の高い場所へ避難（垂直避難）してください。公共施設や団地の階段室などへの避難が想定されます。

- B 洪水の浸水想定区域は、複数のシナリオの一つであり、必ずしも想定どおりに発生するものではありません。想定は1000年に1度の大雨ですが、これを超える雨が降らないという保証はありません。また、大雨時は急に増水することがあるため、川から離れてください。

(4) 「STEP4 災害時の助け合いの重要性」について

→正解A（イ）、B（ウ）、C（ア）

大災害時は、道路の寸断や大規模な交通渋滞が発生し、また、火災や救助要請が同時多発するため、消防等の救助が追い付かず、地域の助け合いが大きな力を発揮しています。

2 その他

(1) 「SEARCH タブレットやスマートフォンなどから確認してみよう！」について

- A 新座市洪水・土砂災害ハザードマップ
令和2年5月に、県が洪水浸水想定区域を改定しています。特に黒目川流域にお住まいの方は、必ず御確認ください。また、柳瀬川流域は荒川が氾濫に伴い浸水することが示されています。荒川は、雨が止んでからも水位が上昇することがあるため、市の避難情報に御注意ください。
- B 新座市HP「緊急時（災害時）の情報取得について」
水位情報の確認方法などを掲載しています。
- C 災害用伝言ダイヤル（171）
地震時は、携帯電話や固定電話が使用できないことを想定し、確認しておきましょう。
- ※ 新座市洪水・土砂災害ハザードマップの見方・使い方について
- ※ 新座市洪水・土砂災害ハザードマップの見方・使い方については、新座市公式YouTubeに掲載しておりますので、御確認ください。
YouTubeはこちら→



(2) 「PLUS+ 大地震では、ライフラインが停止し、復旧に時間を要することが想定されています!!!」について

参考の回答）ライフラインの復旧までに、電気は約6日、電話約14日、都市ガス約55日、上水道（水道など）約30日、下水道（トイレなど）約30日とされています。
御家庭では、食料・飲料水・携帯トイレの他、スマートフォンなどのモバイルバッテリー、カセットコンロ、ウェットティッシュなどは、家庭での備蓄が有効と考えられます。皿にラップを巻くことで皿洗いを省略するなどの知恵も覚えておきましょう。

(3) 「市が発令する避難情報（警戒レベル3以上は市が避難情報を発令）」について

市は、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域にお住まいの方に対し、避難を呼びかけます。同区域外への立退き避難の他、新座市洪水・土砂災害ハザードマップで浸水想定が3m未満の場合、自宅などの2階以上への「垂直避難」も有効です。

また、平日昼間に警戒レベル3を発令した場合、新座小学校、第四小学校及び第四中学校へは直接、市から連絡いたします。

(4) 「TRY 家族で話し合ってみよう！「備えあれば憂いなし」について

いつ発生するか分からない災害に備え、話し合っておきましょう。
家屋の耐震化や家具の転倒防止に努め、食料や飲料水、生活必需品（携帯トイレ等）等の備蓄について、例えば、家族に乳児がいれば粉ミルク、哺乳瓶（消毒も含めて）、おしりふき及び紙オムツ等が必要です。家族にとって必要な物資を考えてみましょう。